



特集

多民族国家「ラオス」のいま

『シャンティ』 連巻296号 2018年7月1日発行 (1・4・7・10月の1日発行) 1985年6月28日 第三種郵便物承認

巻末言 道



生活協同組合とシャンティ

シャンティ国際ボランティア会

理事 中村 紀子

(東京都消費者月間実行委員会 事務局長)

私は生活協同組合で理事をしていました。生協もシャンティも『平和』『災害支援』という共通する行動目標がありました。

生協は組合員一人ひとりが出資者となり、「みんなは一人のために、一人はみんなのために」組合員の願いや意見を取り入れて運営される組織です。「平和なくして生協なし」という言葉もあります。全国に広がる生協は、国内の災害発生時には物資や人材における支援を惜しみません。

シャンティをよく知るところとなったのは、生協で開催するコンサートで音楽家と平和活動団体のトークを企画し、シャンティから鎌倉幸子さん(当時:職員、現:専門アドバイザー)に来ていただいたのがきっかけです。鎌倉さんが語る「本の力」に心を打たれました。その後、東日本大震災が発災、鎌倉さんが移動図書館車の準備に東北に入り、事務所設立に奔走していました。まだ、支援物資を届けるのに夢中で、



仮設住宅を移動図書館車で訪問した時の筆者

本など眼中になかったころです。そして、仮設の生活が落ち着いてきて本が読みたいと思う頃、ちょうど移動図書館車の運行が始まったのです。

生協の理事を退任した後、移動図書館車のボランティアのため3日間、岩手事務所にお世話になりました。仮設住宅に移動図書館車を寄せ、テーブルとイス、コンテナに入った本を並べ、コーヒーやお茶の用意をします。本を借りる人、返す人、お茶を飲みに来る人。何気ないおしゃべりの中で「こんなことになるならいっそ地震の時にあの世に行ってしまうよかった」という言葉を聞いてしまうこともありました。

生協とシャンティはよく似ていると思うことがあります。どちらの組織も歴史があり、理念があり、個々の願いが強いのです。組織としては強く結びついているのが強みでもあるのですが、思いが強い組織ほど内向きになってしまいがちです。つながりあいながらも開かれた組織であり続けましょう。



ラオ族、モン族、カム族、ルー族、ニエアン族。

いま、ラオス事務所で働いている職員たちの民族名です。各民族は異なる習慣や伝統を持ち、そんな民族の集合体が「ラオス」という一つの国家を形成しています。

そんな多民族国家のラオスは近年、急速な経済成長を遂げている一方、少数民族の言語が消滅の危機に瀕し、民族の文化や伝統が失われようとしています。なぜ民族の文化や伝統が危機に陥っているのか。そもそも、なぜ民族の伝統や文化を守ることが大切なのか。文化的なアイデンティティを未来へ受け継いでいくための取り組みについて、ご紹介します。

Shanti vol.296 CONTENTS

- 4 特集
多民族国家「ラオス」のいま
- 12 シャンティな人たち (番外編)
▶海外事務所スタッフ
- 18 世界の絵本を読んでみよう
「ヤアンラーン」(ラオス 2014年出版絵本)
- 20 世界のおやつ旅
ラオスのおやつ／カオノムモトッド
- 21 世界の現場からAIRMAIL
From 活動の現場
▶カンボジア事務所
▶ラオス事務所
- 30 これがわたしの宝もの
ラオス シンサイ「学校のいろんな本」
- 31 お知らせ／編集後記
- 32 道「生活協同組合とシャンティ」
理事 中村 紀子(東京都消費者月間実行委員会 事務局長)



今号の表紙
ラオス モン族の衣装を着た子どもたち。
2015年撮影
©Yoshifumi Kawabata

アジアの美しい秘境 ラオスの世界遺産

ラオスは国民の多くが仏教を信仰しており、世界遺産の一つルアンパバーンの町には、多くの仏教寺院があります。もうひとつの世界遺産ワット・プーは以前はヒンドゥー教の寺院遺跡で、宗教の多様性とその歴史を感じることができます。



©Yoshifumi Kawabata

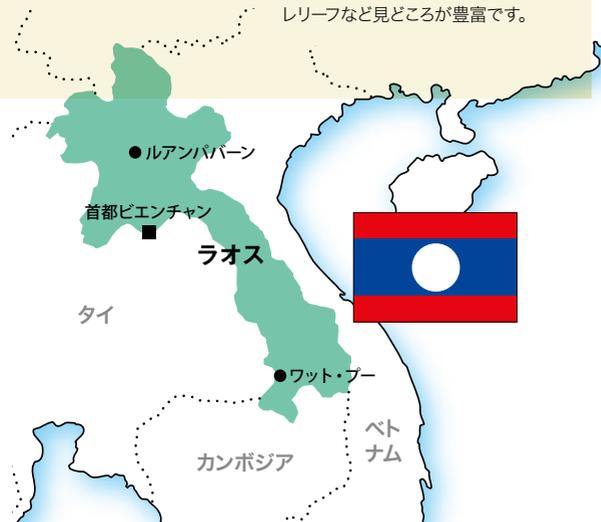
ルアンパバーンの町

日本でいう京都のような古都で、寺院や美しい街並みが特徴です。東南アジア美しい街のひとつとされ、ルアンパバーン様式と呼ばれる赤い屋根の寺院と毎朝托鉢を行う僧侶など、仏教への信仰の強さを垣間見ることができます。



チャンバサク県の 文化的景観にある ワット・プーと関連古代遺跡群

クメール王朝が5～13世紀に築いたヒンドゥー教の寺院遺跡です。今は仏教寺院に変わり、ラオスや近隣諸国の仏教徒の信仰を集めています。本堂や仏像の他に岩に彫られたレリーフなど見どころが豊富です。



ルアンパバーンの風景

多民族国家 「ラオス」の いま

タイとベトナムに挟まれたラオスは、日本の本州と同じくらい面積を持つ国です。2008年にニューヨーク・タイムズの「世界一行きたい国」に選出され、雄大な自然や2つの世界遺産、寺院など見どころがたくさんあります。また、多くの少数民族が暮らすラオスではお土産も充実しています。特に伝統的な刺繍の入った雑貨が豊富で、生産者の文化を知ることができます。

年々ラオスを訪れる観光客は増加し、2015年は430万人、観光収入は6億7000万ドル(約729億円)になりました。ラオス政府も国の経済成長と貧困削減のため、観光に力を入れることを決め、2020年までに外国人観光客500万人を目指す方針を打ち出しています。

山腹ラオ (ラオ・トゥン)

ラオスの先住民族で、標高300～800mの山の中腹や丘陵地に多く住んでいます。焼畑を行い、狩猟や森の恵みを生かして暮らしてきた森の民です。32の民族が山腹ラオに分類され、民族によって異なりますが、自然崇拝が多く、高床住居で暮らしています。主食はもち米で、森でとれた肉や野菜を炒め煮するなど少し濃いめの味付けが多いのが特徴です。



代表的な民族 カム族など



高地ラオ (ラオ・スーン)

中国の雲南省や四川省などから南下してきた民族で、高地や山頂近くに多く住んでいます。焼畑でうるち米やトウモロコシを栽培し、茹で鶏に塩と唐辛子をつけて野菜と食べたり、鶏の茹で汁をスープとして飲んだり、シンプルであっさりした料理が多いです。家の中では土足で、土間の家が多く、窓は小さいのが特徴です。



代表的な民族 モン族、アカ族、ミエン族など



ラオスの人口は約649万人(2015年)。ラオス統計局)で、49の民族で構成されています。各民族の文化的特徴は異なりますが、住んでいる地域の高度によって、低地ラオ(ラオ・ルム)と山腹ラオ(ラオ・トゥン)、高地ラオ(ラオ・スーン)という分け方が国民の間で広まっています。近年、個々の民族のアイデンティティを尊重する方向に向かっており、正式な分け方ではありませんが、ラオスの民族構成を理解しやすいため、本号ではこの3つのグループをご紹介します。

約50の民族が共存する国



低地ラオ (ラオ・ルム)

人口の約6割を占め、メコン川沿いの開けた平地に住んでいます。14世紀に建国された「ランサン王国」の中心となった民族で、灌漑技術を持ち、水田での稲作を行っているのが特徴です。上座部仏教を信仰し、主食はもち米です。おかずによっては日本で一般的なうるち米も食べています。

代表的な民族 ラオ族など



少数民族が守る文化の大切さ

ラオスの多くの少数民族は、自分たちを自然の一部ととらえ、自然との調和を大切に文化を持っています。科学者でも見落としてしまうような自然の変化を察知したり、自然災害を予測し、自然と調和する狩りや農法を生み出すなど、変化に適応してきました。培われた知恵は、各民族の言葉で民話や伝説などの形で代々伝承されてきました。自然と調和した持続可能な社会を作るうえで、少数民族の文化を守ることは大切なことです。

少数民族が 守り続ける それぞれの文化



文化を守るために 見えてきた課題

いま、ラオスの少数民族の言語は消滅の危機に瀕しています。文字を持たない民族にとって言語は、伝統を守るための大事な柱です。しかし、ラオスの学校ではラオス語で授業を行うよう定められているため、少数民族の子どもたちが母語を学校で学ぶ機会がありません。民族の言葉を学び、使う機会が減ることは、少数民族の文化を理解する機会がなくなることを意味します。言語の消滅は、民族のアイデンティティや伝統の消失も意味します。

刺繍などの 伝統文化を守りたい

私も夫も村に学校がなかったので、学ぶことができず戦時中は逃げる毎日でした。その後、結婚し、私はお米や野菜を育て市場で売りながら息子を育てました。モン族の文化では、市場で野菜を売るのは女性の仕事です。市場ではみんながラオス語を使うので、私も野菜を売るときにラオス語を覚えました。ラオス語が話せるようになってからは、さまざまな民族の人と話せるようになりました。



マイさん
(58歳/モン族)

私たちの想い

イラスト：きよはらえみこ

少数民族の子どもと 分かり合いたい



エイ先生
(22歳/小学3年生の担任)

教員だった父は、私が小さいころに亡くなったので、私は子どものころから親戚に預けられて育ちました。厳しい環境でしたが、必死に勉強を続け教員養成学校を卒業し、教員になる資格を取ったのです。自分にとって過酷な幼少期だったからこそ、勉強をすることの大切さは身をもって感じています。私が勤める村はカム族が暮らす村で、村人や子どもたちはカム語を使います。私はラオス語しか話せないのに、カム語でコミュニケーションをとるのが難しいと感じています。特に、子どもたちがよく相談に来るので、カム語が不自由なことをもどかしく感じています。今は、少しずつですがカム語を理解できるようになってきました。言葉が違うことは難しさもありますが、お互いが理解できるように少しずつでも会話を続けることが大切だと感じています。



移り行く 時代の中で、 未来へと 受け継ぐもの

近年、ラオス事務所では、地域の人々に寄り添うことを大切に、少数民族に伝わる民話を村の住民たちから聞きとり、絵本出版や紙芝居制作などに取り組んできました。また、教員から少数民族の子どもたちがよく使う単語を調査し、ラオス語を母語としない民族の子どもたちが楽しくラオス語を学べるよう、フラッシュカード（単語カード）も作成しています。

文化や伝統を守る フェアトレード事業

文化を守るため、民族の伝統的な刺繍や柄を生かした製品の開発し、販売するフェアトレード事業「クラフトエイド」を行っています。1985年、当時タイにあったパンビナイ難民キャンプで、ラオスから逃れてきたモン族が作っていた刺繍を日本に持ち帰り、難民支援バザーを開いたことからクラフトエイドが始まりました。

モン族はラオス、タイ、ベトナム、中国に暮らす山岳少数民族です。漢民族から迫害を受け、ラオスを追われる形でタイにあった難民キャンプに避難してきました。文字を持たないモン族は、自分たちの生活様式や民族の歴史を刺繍で、身につけて持ち運べる



モン族の歴史を表すタペストリー

衣装に残してきました。伝統を守る気持ちが強いモン族も社会変化の波を受け、普段は洋服を身につけ、刺繍人口もどんどん減っています。民族の伝統とアイデンティティを残すため、クラフトエイドはモン族の伝統的な柄はそのままに、多くの商品を発注することでその手助けとなるよう務めています。

クラフト 商品紹介

クラフトエイドの人気商品に、「ラオスの森」シリーズ、「シビライ村」シリーズがあります。どちらもラオスのモン族の手刺繍アイテムです

◀ラオスの森ポーチ

文字を持たないモン族は、刺繍で民族の歴史や文化を記録しています。女性たちが絵を描くように刺繍した森の動物たちが特徴です。



シビライ財布 ▶

シビライ村は、難民キャンプからラオスのピエンチャン郊外に村ごと帰ったモン族の村です。公平に賃金が行き渡るよう村の女性全員から買い取っています。



商品について詳しくはぜひクラフトエイドまでお問い合わせください。

TEL:03-3350-1981 www.craftaid.jp



ラオスの想いを

繋いでゆく

前ラオス事務所長 加瀬 貴

※2018年5月 カンボジア事務所長に着任

近年、ラオスは、年率7%前後と、高い経済成長率を維持しています。2020年までに後開発途上国から脱却するという国家目標の達成が期待され、ラオスは新しい時代を迎えつつあります。

しかし、首都とその他の県における一人当たりGDPは3〜4倍の開きがあり、都市と農村の格差は深刻な状況です。水力ダム建設、中国からピエンチャンを結ぶ高速鉄道計画の着工などに伴う、住民の移転問題が発生するなど、経済成長の負の影響も出てきています。

私たちは、変わりゆくラオス社会の中で、「持続可能な開発目標(SDGs)」で謳われている「誰一人取り残さない」という思いを大切に、特に農村へき地の児童および教員がより

良い指導・学習ができるための支援を続けてきました。

出会う人々は、経済的に豊かとはいえませんが、笑顔をやさしく、やさしく、あたたかく、とても魅力的です。支援する側、受ける側の垣根を越えて、「人として大切なことは何か」を、教えてくれる人々だと感じます。

ラオス語で「ウドムソンプン」という言葉があると、事業地で出会った人々が教えてくれました。「お金では計れない豊かさ」という意味です。「山があり、川があり、魚がいて、牛がいる。耕す畑があり、飢えることはない。お金はないけどね」と笑うラオスの人々。経済成長をする中、「ウドムソンプン」という言葉の意味を大切にしながら発展してほしいと考えさせられた瞬間でした。

ボランティア 人たち

番外編

海外事務所スタッフ

海外事務所に勤務するスタッフに
「あなたの好きなこと」を聞きました。

ブンホン
プロジェクト
スタッフ

玉利清隆
ラオス事務所
所長

好きなこと
読書、ギター、バドミントン、サッカー観戦

好きなこと
海外一人歩き、ギター

ソッケア
ドライバー

ソピアック
学校建設

チャイノイ
テクニカル・
サポート

好きなこと
読書、スポーツ

好きなこと
植物の世話、部屋の片づけ

好きなこと
楽器を弾く

レー
移動図書館担当

好きなこと
サッカー、バレーボール、釣り

カムコン
プロジェクト
マネージャー

好きなこと
歌を歌う、旅行

ナット
ドライバー

フーン
学校建設/
幼児教育事業

好きなこと
家族と一緒に過ごすこと

好きなこと
クメールの伝統音楽

ヴィスナー
フィールドオフィス
マネージャー

好きなこと
健康のための日々の運動

02 ラオス事務所 13人



シーライ
プロジェクト
スタッフ

好きなこと
ニュースやコメディを見る

オイ
調整員

好きなこと
運動、テレビ

ソケナ
ドライバー

好きなこと
世界のニュースをテレビで観ること

ミアス
コミュニティ
ラーニング
センター事業

好きなこと
農業、友達とおしゃべり

ステラ
コミュニティ
ラーニング
センター事業

好きなこと
本や雑誌を読むこと

ライム
経理
シニア・
コーディネーター

好きなこと
シャンティで働くこと

加瀬 貴
カンボジア事務所
所長

好きなこと
サイクリング

ラーン
ドライバー

好きなこと
釣り、ランニング

デン
総務

好きなこと
テレビ

ノイ
副調整員

好きなこと
水泳、バドミントン

サムウン
ドライバー

好きなこと
テレビを観ること

ラタナ
コミュニティ
ラーニング
センター事業

好きなこと
おもしろいテレビ番組

スレイノック
幼児教育事業

好きなこと
外国語を学ぶこと

ソリダ
経理
アシスタント・
コーディネーター

好きなこと
働くこと

01 カンボジア事務所 25人



ヌン
ドライバー

好きなこと
音楽、ランニング

ナー
経理

好きなこと
YouTubeでいろいろな髪型を学ぶ

センサワン
プロジェクト
スタッフ

好きなこと
サッカー、音楽鑑賞

フーイ
清掃

好きなこと
料理、掃除

ニー
コミュニティ
ラーニング
センター事業
コーディネーター

好きなこと
バレーボール

萩原宏子
幼児教育事業/
コミュニティ
ラーニング
センター事業
コーディネーター

好きなこと
読書、音楽鑑賞

パリカ
総務・経理

好きなこと
家族と楽しい時間を過ごすこと

ソボン
総務
コーディネーター

好きなこと
チェス、家族と観光旅行

ブンリエン
移動図書館担当

好きなこと
音楽鑑賞、読書

ダー
清掃

好きなこと
新聞を読むこと

手束耕治
アドバイザー

好きなこと
水泳、ビリヤード

モンクラ
幼児教育事業
アシスタント・
コーディネーター

好きなこと
テクノロジー

ロアット
テクニカル・
サポート
アシスタント・
コーディネーター

好きなこと
シャンティで働くこと

ソフィアビー
総務
アシスタント・
コーディネーター

好きなこと
ラジオで音楽を聴く

06

ミャンマー(ビルマ)
難民キャンプ事務所
14人

 <p>シラ 図書館 アシスタント コーディネーター</p> <p>好きなこと ギター</p>	 <p>エッソ 図書館 コーディネーター</p> <p>好きなこと 一人娘と遊ぶ</p>	 <p>八木澤 克昌 アジア地域 ディレクター 兼 ミャンマー(ビルマ) 難民事業事務所 所長</p> <p>好きなこと 国境と辺境の旅</p>
 <p>ドー ドライバー</p> <p>好きなこと サッカー</p>	 <p>トウ 図書教材 コーディネーター</p> <p>好きなこと 読書</p>	 <p>セイラー 所長代行</p> <p>好きなこと 歌、料理</p>
 <p>チャボ ドライバー</p> <p>好きなこと バイク</p>	 <p>プラウィット 図書館 アシスタント コーディネーター</p> <p>好きなこと 家庭菜園</p>	 <p>菊池礼乃 プロジェクト マネージャー</p> <p>好きなこと 旅行</p>
 <p>ワー 清掃</p> <p>好きなこと テレビ・映画</p>	 <p>マライ 図書館 アシスタント コーディネーター</p> <p>好きなこと 掃除</p>	 <p>ウェン 総務</p> <p>好きなこと ヨガ</p>
	 <p>イン 図書館 アシスタント コーディネーター</p> <p>好きなこと バレーボール</p>	 <p>ティック 経理</p> <p>好きなこと 家事全般</p>

 <p>ノウェマ 公共図書館担当</p> <p>好きなこと 読書、映画・音楽鑑賞</p>	 <p>ケーシー 総務経理担当</p> <p>好きなこと 読書、園芸</p>			
 <p>コゾウ ドライバー</p> <p>好きなこと チェス</p>	 <p>トータ カウンターパート 渉外担当</p> <p>好きなこと ギターを弾くこと、泳ぐこと</p>	 <p>チョンゲ 学校図書館担当</p> <p>好きなこと 読書、旅行</p>	 <p>伊藤杏子 事業調整員</p> <p>好きなこと ヨガ、瞑想(妄想)</p>	 <p>中原亜紀 ミャンマー事務所 所長</p> <p>好きなこと 旅行</p>
 <p>タンナイ ドライバー</p> <p>好きなこと 運転、詩を書くこと</p>	 <p>ヤンナイ ヤンゴン事務所 コーディネーター</p> <p>好きなこと 読書、サッカー観戦</p>	 <p>エディソン 学校図書館担当</p> <p>好きなこと サッカー、ピアノ、読書</p>	 <p>ゼヤ アシスタント コーディネーター (公共図書館担当)</p> <p>好きなこと 読書、サッカー、散歩</p>	<p>05 ミャンマー事務所 29人</p> 
 <p>ドーチーチー 清掃</p> <p>好きなこと 手芸</p>	 <p>ウイントウエ 東バゴー地域 移動図書館担当</p> <p>好きなこと 読書、旅行、翻訳作業</p>	 <p>ウインコ 学校建設担当</p> <p>好きなこと 新たな場所を訪れること</p>		 <p>メメ 総務経理課長・ 経理担当</p> <p>好きなこと 泳ぐこと、読書</p>
 <p>ウインワ 清掃</p> <p>好きなこと お化粧をしてあげること</p>	 <p>バーソーゲイ 東バゴー地域 移動図書館担当</p> <p>好きなこと 読書、教えること</p>	 <p>ミミ 学校建設 アシスタント コーディネーター</p> <p>好きなこと 音楽鑑賞</p>	 <p>ハニー アシスタント コーディネーター (学校図書館担当)</p> <p>好きなこと 映画鑑賞、読書</p>	 <p>スウ 総務担当</p> <p>好きなこと 読書、詩を書くこと、旅行</p>
	 <p>黒田弘啓 インターン</p> <p>好きなこと バドミントン、読書</p>	 <p>パクマイ 児童図書出版・ 図書購入担当</p> <p>好きなこと 読書、工作、園芸</p>	 <p>ティン・ミヤ 公共図書館担当</p> <p>好きなこと 音楽鑑賞、読書、バドミントン</p>	 <p>エビュー 経理担当</p> <p>好きなこと 読書、音楽鑑賞、慈善活動</p>



ヤアンラーン

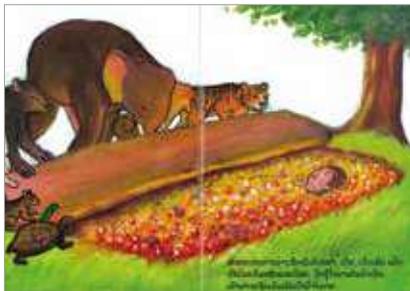


1

むかしむかし、動物と人が言葉を通じてお互いを理解し合っていたころ、ヤアンラーンという女性がいとも動物たちと一緒に歌って夫と暮らしていました。

2

時が経ち、年老いたヤアンラーンは亡くなりました。彼女が大好きだった動物たちはとても悲しみ、お墓に眠るヤアンラーンの体を金や銀、宝石と針で覆いました。



3

動物たちの中で、ジャコウネコだけがお葬式に行きませんでした。そのことを良く思わなかった他の動物たちは、ジャコウネコに木の上だけでしか食べ物を取れないようにしました。ジャコウネコは友達もいなくなり、独り木の上で過ごすようになりました。



4

ある日、ヤアンラーンのお墓に誰もいないとき、ジャコウネコはお墓に向かって言いました。「お葬式に行かなくてごめんなさい。僕は間違っていたから、夜になると目が見えなくなってしまうんだ。僕を許して。どうか、夜に目が見えるようになしてください。」

5



すると、お墓から不思議な力が現れて、ジャコウネコの目が見えるようになりました。それからというもの、この話を聞きつけた人々がお墓を訪れるようになり、訪れた人々はみんな願いが叶うようになりました。

6

こうして、ヤアンラーンはカム族の母として、よく働く素晴らしい女性だと称えられ、代々この話が言い伝えられました。カム族では誰かが亡くなると、お墓の上に尖った針の象徴として尖った農具をさすようにになりました。



※この絵本はカム族の中で口頭伝承されていたお話を聞き取り、出版したものです。テン族の人たちもヤアンラーンを自分たちの祖先として慕っています。

世界の現場から

AIRMAIL

To 日本の皆さん From 活動の現場

このページでは、
アジアの各国で活動する
シャンティの様子や
スタッフを紹介します。

From Cambodia

カンボジア

1991年の事務所開設以来、さまざまな支援をしてきたカンボジア事務所。支援の成果がしっかりと定着することを目指して、地域の人々の主体性を促進する活動を行っています。



From Laos

ラオス

1992年から読書推進事業の支援を開始したラオス事務所。現在は、学校建設や、複式学級を担当している教員の指導能力改善などに取り組んでいます。



ラオス事務所の経理担当
ナーさんの
おすすめおやつ

みんなの笑顔をつくる
世界のおやつ旅

家族で食べたい幸せおやつ

サバイデー！（こんにちはー）ラオス事務所から、とっておきのおやつ「カオノムモトッド」の紹介です。このお菓子はもち米、バナナ、砂糖、ココナッツを混ぜ合わせて油で揚げるだけ。日本のドーナッツやサータアンダギーのように、外はサクサク、中はしっとりとした食感が特徴的です。甘さは控えめですが、バナナとココナッツ本来の甘さを感じられる、癖になる味わいです。
2週に1度くらい、どうしても甘いものが食べたくなったときに食べてます。家族のみんなと一緒に食べている時間はとても幸せ！ラオスに来たときはぜひ食べてみてくださいね。

ラオスのおやつ
カオノムモトッド
ເຂົ້າໝີມໝໍທອດ



2014年にシャンティに入職。ラオス事務所で経理を担当しています。

屋台で販売



ナイトマーケットなどで色とりどりのおやつと一緒に店先に並んでいます。

Hot Topics

① 住民参加による教室環境改善

幼児教育事業では、家具や資材、絵本を配布しますが、教室の床のタイル貼りや壁の塗装などの小規模修繕は、学校と住民で協力するよう働きかけています。ある学校では、住民一人当たり10,000リエル(約250円)の募金をお願いしたところ、全住民が協力してくれました。当初1クラスしかなかった幼稚部は、午前と午後の2クラスに増えました。



② 「識字×図書館」に向けた本の貸出開始

CLC事業では、識字と図書館活動をつなげることを目指していますが、村人の多くは日々の生活で忙しく、なかなか図書館に足を運ばません。そのため、新たに本の貸出を試験的に開始。これに先立ち、本の管理システムの強化や貸出ルールの作成などの研修も実施しています。



③ 「遊びを通した学び」の推進

日本の保育士からアドバイスを得て、「遊びを通した学び」を推進しています。先生が一方向的に「教える」スタイルになりがちですが、工作を楽しむ子どもの姿を見て、先生たちも少しずつ、遊びの大切さを理解し始めています。



カンボジア事務所 調整員
萩原宏子 はきはらひろこ

PROFILE

2010年1月入職。東京事務所ではアフガニスタン事業を担当したのち、2013年よりカンボジア事務所調整員に。2016年にECE^{*}プロジェクト・マネージャー、2017年よりCLC事業兼任。

^{*}1国際協力機構(JICA)草の根技術協力事業「カンボジア・バタンバン州の公立幼稚園における幼児教育・保育の質の改善事業」

退屈だった幼稚園が楽しい場所に変わった子どもたち
印象的だったのは子どもたちが『週末は幼稚園に行けないの?』って聞くのよ」という先生の言葉です。私たちの事業では、おはなしや教室環境作りの研修を行っています。先生が学んだことを実践したことで、子どもたちにとって幼稚園が楽しい場所になったのだとうれしく思いました。



カンボジア

From
Cambodia

カンボジア

シャンティでも歴史が長く、1991年から支援を行ってきました。現在、2つの事業を軸に活動中で、その成果も少しずつ見えています。



見えてきた地域の人々の変化

カンボジア事務所では、2つの事業を軸に活動しています。一つは、「コミュニティラーニングセンター(以下CLC)」の運営です。事業開始以来、6カ所の施設を設立し、現在は行政への移管調整と、その後のスムーズな運営のための能力強化研修を行っています。特に識字教室と図書館活動をつなげるための取り組みに力を入れています。

もう一つは、バタンバン州の公立幼稚園42カ所で行っている、幼児教育の質の改善を目指したECE事業^{*}です。この事業はおはなしの推進や教室環境の改善、幼児教育の重要性の啓発などを目的としています。こちらは今年が事業の最終年にあたり、対象幼稚園では徐々に成果が定着しています。幼稚園の先生や郡教育局職員が自ら、本事業での学びを他の幼稚園に紹介してくれるような好循環も生まれています。



地元のおすすめを
紹介します！

カンボジアの1つに、アプサラダンス(写真②)があります。アプサラは美しい女の子を意味し、大きな出来事やイベントの際に踊られるものです。伝統のカンボジアダンスの核とされ、起原はスーリヤヴァルマン2世の頃に遡ります。

世界的な人々が圧倒されるアンコールワットの魅力
カンボジアの1押しは、やはりアンコールワット(写真①)です。特に、当時の生活や戦争が描かれた寺院の壁は、世界の人々を圧倒します。スーリヤヴァルマン2世により建てられた寺院の推定建築期間は、なんと30年。アンコールワットを建てた人々が自分の先祖だといつことを誇りに思っています。



8:00
1館目のCLCでの業務
1館目のCLCに到着し、本の管理イベントを行います。



10:00
イベント参加者のおやつ準備
イベントに参加している地域の人々へ、休憩中の飲み物やおやつを用意します。



13:00
2館目のCLCでの業務
2館目のCLCに移動し、イベント開始。本を棚から全て取り出し、本に関するリストをチェックします。



18:00 夕食
甥っ子や家族と一緒に、その日あったことを話しながら夕飯を食べます。



6:30 朝食

向かう途中の食堂で、同僚と一緒にお米でできた麺(クイティオ)を食べます。ライムや香辛料、ソースなどを沢山入れます。

業務開始



6:00 出勤

車で約1時間の場所にある農村地域のCLCに向けて、事務所を出発します。



5:30 起床

起きたらまず、エクササイズをします。

入職のきっかけは、家族の支援がない子どもたちの現状を目にしたことでした。ソーシャルワーカーの兄に農村部の子どもたちの厳しい状況を聞き、彼らを助けたいと強く思うようになったのです。

普段は、地域住民とカウンセラーパート、開発パートナーとのやりとりや、事業のレポートや報告書の作成、資料の翻訳などを行っています。現在の課題は、地域住民の参加が積極的でないこと。支援により、子どもたちの生活の質が向上することを願っています。

教育を通じた支援で子どもたちの生活向上へ

コミュニティーニングセンター(CLC) スタッフ

キーヴ・チャンラタナ
(ラタナ)さんの1日に密着



PROFILE
2016年11月に入職。兄2人姉2人がいる末っ子。家族や友人とのおしゃべり、旅行、観光が趣味。



19:00 自由時間

家族とおしゃべりしたり、甥っ子と遊ぶことが大好きです。



22:00 就寝

Facebookで友達とメッセージのやり取りを楽しんだ後、就寝。

Hot Topics

① 移動図書館活動の研修会を開始

新たな活動地のルアンパバーン県パクセン郡で移動図書館活動の研修会を実施しています。参加した教員から「研修を通じて、読書の大切さだけでなく、具体的な管理法、活用方法を知ることができた」との声が聞かれました。

② ビーマイ(ラオス正月)を皆でお祝い

毎年4月に新年を迎えるラオス。カウンターパートをラオス事務所に招待し、新年祝賀会を行いました。新年の幸福を祈るパーシクワンの儀式の後、みんなで儀式によって清められた聖水を掛け合い、新年を祝いました。

③ プロジェクトの成果発表会を開催

2018年3月、国際協力機構（JICA）、ラオス国教育スポーツ省、シャンティが主催し、成果発表会を行いました。ヴィエンカム郡教育事務所から事業成果として、「教員が教材を使って複式学級運営をスムーズに展開できるようになった」との声がありました。



ラオス事務所
プロジェクトマネージャー
カムコン・クンチャムノン

PROFILE

1994年よりドイツ国際協力会社(GIZ)、2000年より日本国際ボランティアセンター(JVC)で勤務後、2004年にシャンティへ入職。人生のモットーは「大丈夫、なんとかなる！」

今年度スタートした新たな事業地での活動を成功へ
今年度からルアンパバーン県の2郡で、新事業をスタートしました。この事業を成功させ、事業地に住む少数民族の子どもたちの99%以上が学業でよい成績を残し、100%がラオス語の4技能(読み・書き・話す・聞く)を向上させ、習得できるようにしてほしいと思っています。



From Laos

ラオス

1992年からラオスでの支援を続けるシャンティ。現在は、読書推進活動と学校建設事業に加え、教員の指導能力改善事業も実施しています。



©Yoshifumi Kawabata

子どもたちの笑顔が私たちを動かす原動力！

首都のビエンチャンには、主にラオタイ族が暮らし、官公庁や民間企業が働いています。どこにも電気が供給され、整備された道路には、たくさん車が走っています。うって変わって、活動しているヴィエンカム郡は、少数民族が暮らし、多くの人が農業に従事しています。中心地では電気を使えますが、一部地域ではそれも叶いません。私たちは、この山岳地帯に住む子どもたちが、より質の高い教育を受けるために日々尽力しています。子どもたちの中には学校から帰宅後、弟や妹の世話をしたり、農作業をしている両親に変わって家事をしなければならないなど、気持ちに余裕がなく、笑うことが難しい子どももいます。そんな子どもたちの笑顔を見ることが、私たちの頑張りの源となっているのです。



地元のおすすめを紹介しします！

世界遺産都市ルアンパバーンには、2つのおすすめスポットがあります。1つは、街の中心地にそびえる高さ150mのブーシーの丘と仏塔(写真①)。メコン川やナムカーン川が一望でき、夕暮れ時には多くの人がメコン川に沈む夕日を観に訪れます。2つ目は、ルアンパバーンを象徴する建築物のワット・シエン(写真②)です。ルアンパバーンで一財を築いたビエンチャン出身の商人の業績を、当時の王様がたたえて建設された建造物です。湾曲した形が特徴の本堂の屋根は「ルアンパバーン様式」と言われ、壁には仏教の伝説がモザイクで表現されています。



街全体が世界遺産！
特におすすめの2大スポット



8:30 朝のルーティン業務

ミーティング後、メールを確認し事務所の職員と情報共有。職員の出勤簿を付けます。



8:20 出勤

オートバイで出勤。10分で事務所に着きます。



10:00 買い出しや業務管理

オフィス用品の買い出しやハウスキーパーや運転手たちへ仕事の指示を出しています。



7:40 朝食

2人の姪と一緒に朝食。朝食は母が用意してくれます。



14:30 デスクワーク

日本からの出張者の宿泊先や航空券の手配、現地協力機関との行政手続きの調整を行います。

一生懸命頑張る職員を総務担当としてサポート

総務担当として、書類の管理や備品購入、環境の整備を行っています。以前からNGOの活動に興味を持っており、いつか働いてみたいと思っていました。職員たちが人々の暮らしの向上のために一生懸命頑張る姿はとても輝いて見えます。ラオス事務所の職員たちはとても親切で、冗談を言い合ったりするほど仲良し。毎日一緒に仕事ができることがとても嬉しいです。予算会議や年次セミナーの準備は多忙ですが、とてもやりがいを感じています。



19:00 夕食

帰宅後、母の夕食作りの手伝いをし、家族そろって夕食を食べます。



20:00 自由時間

夕食後はテレビの時間。バラエティ番組やタイのドラマを見ることがとても好きです。



6:30 起床

朝6:30に起床。シャワーを浴びて歯を磨きます。



22:30 就寝

テレビを見終わった後、就寝。

From Laos/ラオス

現地スタッフの1日

雄大な自然や東南アジア美しい街のひとつとされる世界遺産など、魅力溢れるラオス。現地スタッフの日々の業務やおすすめスポットを紹介します。

ラオス事務所 総務担当
チャンサモン(デン)
さんの1日に密着



PROFILE

2014年5月に入職。両親、兄、妹の4人暮らし。友人のおしゃべりやテレビを見ることが好き。

シャンティからのお知らせ



子どもたちの メッセージ紹介サイトをOPEN

36年にわたり、27万冊以上の翻訳絵本を届けてきたシャンティは、これまで本を手にし、未来を切り拓いた多くの人々に出会ってきました。そんな人々の“声”をお届けする特設サイトをオープンしました！みなさんのご支援によって、本が届き、未来を切り拓く力となっています。ぜひ、絵本を手にした子どもたちの様子をご覧いただくと幸いです。

www.sva.or.jp/books-for-all

人事のお知らせ

●入職

岩松 智子 広報課 絵本を届ける運動担当 (3月12日付)
石田 理絵 クラフトエイド課 (3月26日付)
飯嶋 麻里 支援者リレーションズ課 国内緊急救援担当 (4月9日付)
高橋 布美子 クラフトエイド課 (5月1日付)
栗本 愛 事業サポート課 海外緊急救援アシスタント (5月7日付)
石塚 咲 事業サポート課 海外事業担当 (5月14日付)
瀧谷 裕美 経理・総務課 経理担当 (6月1日付)

●退職

黒澤 真理子 経理・総務課 (4月30日付)
木村 万里子 事業サポート課 (4月30日付)
西田 喜代美 事業サポート課 (5月31日付)
澤井 美奈江 カンボジア事務所 (6月12日付)
河口 尚子 広報課 (6月30日付)

●異動

玉利 清隆 カンボジア事務所長 → ラオス事務所長 (5月1日付)
加瀬 貴 ラオス事務所長 → カンボジア事務所長 (5月1日付)
中尾 乃絵 事業サポート課
→ ミャンマー (ビルマ) 難民事業事務所 (6月1日付)

●雇用形態変更 (契約職員→正職員)

竹内 海人 事業サポート課 海外緊急救援担当 (4月1日付)
小林 裕司 経理・総務課 データ管理・IT担当 (4月1日付)
菊池 礼乃 ミャンマー (ビルマ) 難民事業事務所 (5月1日付)
召田 安宏 広報課 広報担当 (5月1日付)

編集後記

5月に息子の初節句をお祝いするため、一升餅を用意しました。購入するにあたり、一升餅に込められた意味や由来を調べてみると、地域によって祝い方に違いはあれど、子どもの将来への想いが詰まっていることが分かりました。例えば国や民族は違えど、子どもの未来を想う気持ちは、世界共通だと感じました。(召田安宏)

シャンティ 2018年夏号 (通巻296号) | 2018年7月1日発行

発行人：若林恭英
発行所：公益社団法人シャンティ国際ボランティア会
〒160-0015 東京都新宿区大塚町31 慈母会館2・3階
TEL 03-5360-1233 FAX 03-5360-1220
WEB：www.sva.or.jp E-Mail：info@sva.or.jp
編集人：関尚士、鈴木晶子
編集・制作：株式会社文化工房
イラスト：きよはらえみこ
印刷：株式会社サンエー印刷

当会へのご寄付は、所得税、住民税、および法人税、相続税の優遇措置が受けられます。
©Shanti Volunteer Association.
「シャンティ」は、FSC®森林認証紙にノンVOCインキ(石油系溶剤0%)で印刷しています。



これがわたしの一日

- 6:00 起床
炊事、家畜の餌やりをして掃除します。
- 7:00 朝食
ご飯と焼き魚に、唐辛子のソースをつけて食べます。
- 7:30 登校
自転車に乗って学校へ。
- 8:00 午前の授業
好きな科目は「ラオス語」と「私たちの身の回り(日本でいう生活科)」です。
- 11:30 昼休み
友達と遊んだり、絵本を読んだり、手洗いや歯磨きをします。
- 13:30 午後の授業
帰宅後は宿題をして夕飯の手伝い。
- 16:00 下校
帰宅後は宿題をして夕飯の手伝い。
- 18:00 夕食
もち米、旬スープ、焼き魚をよく食べます。
- 19:00 自由時間
宿題をしたり、本を読んで過ごします。
- 20:00 就寝

シンサイの宝もの

学校の いろいろな本

これがわたしの宝もの



お気に入りの一冊は「欲張りな友達」

待ちに待った自由時間は大好きな読書を
お父さん、お母さん、妹の4人の家族で暮らすシンサイです。将来の夢は、国の安全を守り、平和を維持するために活躍するラオス軍の兵士になることです。
そんな僕の宝物は学校にあるいろいろな本です！いつも休み時間に職員室の本を読みに行ったり、何冊か本を選んで先生に読んでもらったりしています。
下校後は、友達とスポーツをしたり、宿題をしたり、夕飯づくりやお皿洗いなど、お母さんのお手伝いをするのが日課です。夕ご飯を食べ終えたら自由時間！寝るまで学校で借りた本を読みます。たくさんのお話を読んだり、本の中の絵をじっくりと見て好きな絵を探して楽しめます。
休みの日には、農作業を手伝ったり、炊事用の薪割り、鶏やアヒルなど家畜の世話、妹の世話をすることもあります。

